



生徒指導部から（1年生へ）

==未来の花を咲かせるために==

2026年6月5日

入学から2ヶ月、学校生活にもだいぶ慣れてきたことでしょうか。学年朝礼で話したとおり、「慣れ」は人を良くも悪くも変えていきます。慣れたことで、よりよい習慣や技術を身に付けようとする向上心をもつのか、それとも慣れたことで、いい加減さを覚えて、楽をしようとするのか。正解は言わずと知れたこと。易きに流されそうとき、それを指摘してくれる身の回りの友人や保護者、先生などの言葉を素直に受け取れるかどうかで未来は変わってきます。

ルールやモラル、マナーについて考えよう・・・

『ルール』とは、集団の秩序を維持するために守らなければならない決まりのこと。

あなたたちの部活動の競技にも、その競技を成立させるためのルールがあるでしょう。守らなければペナルティが科せられるばかりか、相手を危険にさらすことにもなります。



ルールやそれを守ろうとする規範意識は、その集団の成熟度、レベルを表す尺度でもあります。

高価なことで知られるブランド品は、その製造過程や検品、出荷方法や店頭での取り扱いに厳格なルールが定められているからこそ、信頼という付加価値を高めているのです。

ルールを破ることは簡単です。でも、そんな人が作った物、売る物には、ブランド品としての価値はありません。あなたたちは「ものづくりを学ぶ」学校で自分を成長させようとしています。

自分の未来を描いて、望む進路を実現させようとしています。

そんなあなたたちがルールに対して、いい加減でいいはずはありません。

ルールを守ろうとする規範意識を高めることは、

未来の自分づくりに必ずプラスになることです。



「登下校の際には、ヘルメットをかぶる」というルールは、

あなたたちの安全を願う保護者からの要望をもとに定められたものです。

めんどうくさがらず、自転車に乗るときには、まずヘルメットをかぶりましょう。

形だけにならないように、しっかりあごひもを締めることも忘れずに。

頭髪や服装、カバンなどのルールも同じです。もちろん時間のルールも。

ルールを守れない人がいると、それを守らせるためにペナルティを科すことになります。

そんな窮屈な思いをしないために、それぞれがしっかりと規範意識をもちましょう。



『モラル』とは、ルール以前の人としての正しい心の持ちよう、とるべき行動のことです。

うそをついてはいけない、ゴミを捨ててはいけない、人のものを盗ってはいけない、・・・

残念ながら、そのモラルが欠けている(低下している)人が増えているようです。

街頭やお店には、至る所に防犯カメラが当たり前のように設置されています。

盗難などの犯罪を抑止するためです。学校でも教室に鍵をかけなくてはならない。

モラルが低下して、秩序が保てないと、ルールで規制することになります。

これは、とても寂しいことです。



『マナー』とは、人に対する配慮や思いやりを言葉と態度で示すことです。

マナーにおけるポイントは相手目線、あくまでも自分ではなく相手がどう感じるか、です。

公共の場（学校、バスや電車の車内など）で騒いでいませんか？

自転車の運転で周りの誰かに迷惑をかけていませんか？

何気ない口笛や歌声で人を不快にいませんか？

あなたの行いを周りにいる誰かがどう感じるか、をきちんと考えて行動することが大切です。

こうして考えてみると、

『モラル』を意識して、正しい行動を選択し、

『マナー』を意識して、他人への思いやりを表せば、世の中の問題の多くは解消されるはずです。

モラルが高く、マナーに優れ、ルールがきちんと守られている学校。

それは魅力ある素敵な学校だし、

生徒一人ひとりが存分に輝ける場所になるはずです。

確固たるブランド力を礎に、

自分たちの望む進路を叶えられる学校であるはずです。



そんな鹿児島工業高校をあなたたちの手で創ってください。